



BEET 政府認証マフラー

NASSERT Evolution Type II

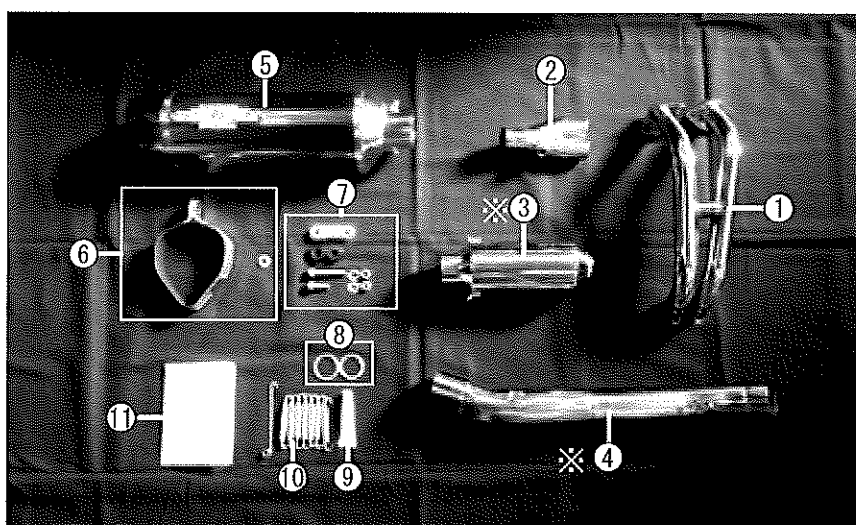
KAWASAKI Ninja400 ('18)

取扱説明書

▲ 注意 作業前に必ずお読み下さい。

パッケージの内容を下の写真でご確認下さい。

- 取り付け作業に関しましては、設備の整ったバイクショップ又は、パーツショップに作業依頼することをお勧めします。
- 取り付け作業者は、必ず取り付け説明の各項目、注意事項、部品構成を理解した上で、作業を進めてください。
- 作業をされたショップの作業者は、ノーマルパーツ及び説明書などは必ずユーザーの方へお渡し下さい。



※一部形状が異なります。

1 エキパイ	7 サイレンサーステーセット
2 集合部	8 エキパイガスケットセット
3 サブサイレンサー	9 耐熱シリコン
4 テールパイプ	10 スプリングセット
5 サイレンサー	11 保証書セット
6 サイレンサーバンドセット	

I ノーマルマフラーの取り外し



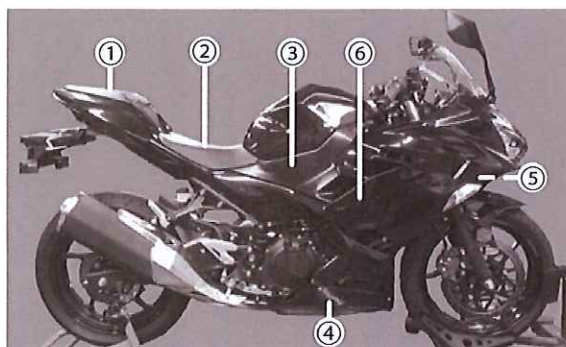
注意

走行後マフラーは非常に高温になっております。十分冷ましてから作業を行ってください。

【 外装の取り外し 】

以下の順に取り外します。

- ① リアシート
- ② フロントシート
- ③ サイドカウル
- ④ ロアカウル
- ⑤ インナーカウル
- ⑥ センターカウル



【 ノーマルマフラーの取り外し 】

O2 センサーを取り外します。

①②のボルトを外し

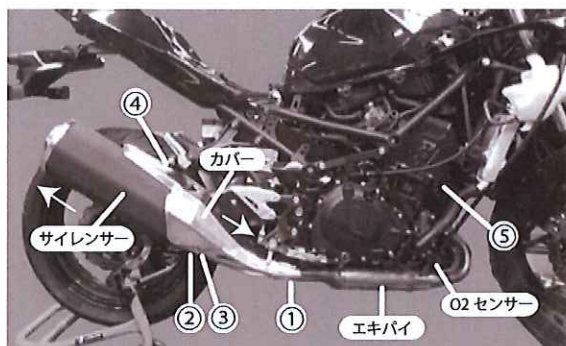
カバーを前方へスライドさせ取り外します。

③クランプボルト④ボルト、ナットを外し

サイレンサーを後方へ取り外します。

⑤ナットを外しエキパイを取り外します。

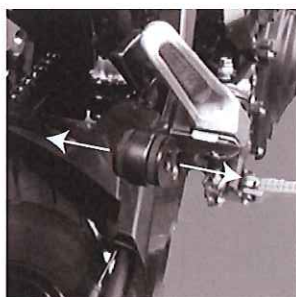
※⑤ナットはナサートマフラー取付時
使用します。



II ナサートマフラーの取り付け準備 1

【サイレンサーステーの取り付け】

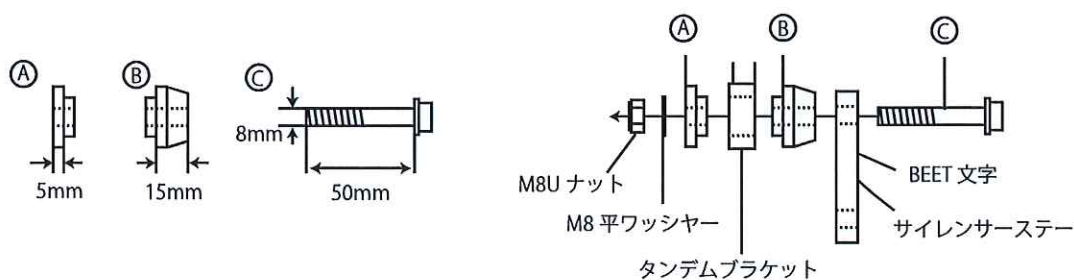
- ノーマルダンパーラバー、
カラーを取り外します。



- 付属のダンパーカラー
サイレンサーステーを
取り付け
仮締めしておきます。



上から見た図



Ⅲ ナサートマフラーの取り付け 1

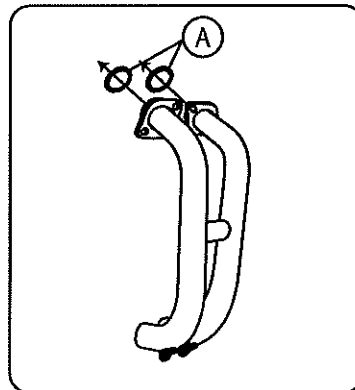
【エキパイの取り付け】

- エキパイガasketを付属 (A) に交換します。

HINT

耐熱シリコンを少量塗っておくと落下防止になり
取り付けやすくなります。

- ノーマルのナットを使ってエキパイを取り付けます。
仮止めの状態にしておきます。

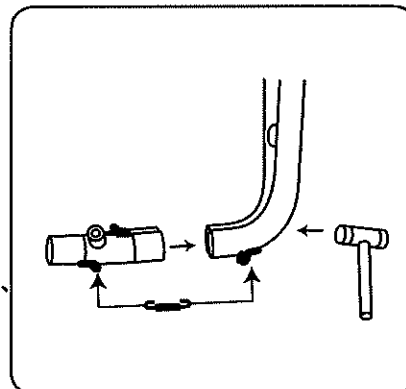


【集合部の取り付け】

- 組み立て時、差し込み部分に
薄く耐熱シリコンを塗布してください。
- エキパイに集合部を差し込み
スプリング (2個) を取り付けます。

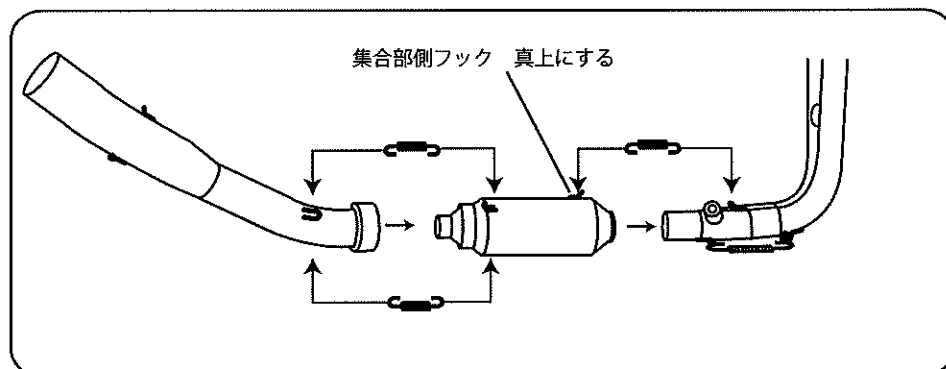
HINT

集合部のジョイント部分は高精度に出来ていますので、
プラスチックハンマー等で軽く振動を与えながら
慎重に組み立てます。



【サブサイレンサー、テールパイプの取り付け】

- 図のように
取り付けます。



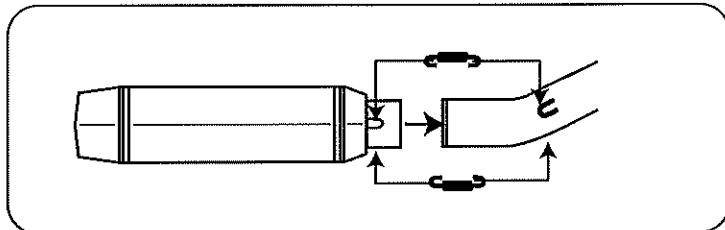
スプリングツール



Ⅲ ナサートマフラーの取り付け 2

【サイレンサーの取り付け 1】

- サイレンサー、スプリングを取り付けます。



- サイレンサーにサイレンサーバンドを通し
サイレンサーバンドを図 (A) のように取り付けます。

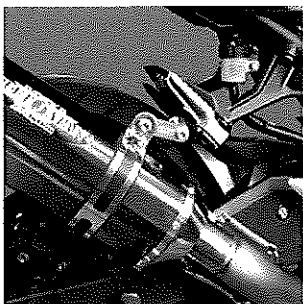
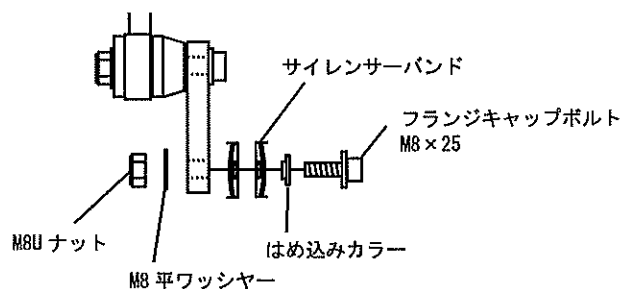


図 (A)

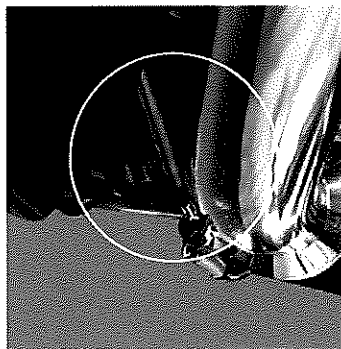


! この時点で各パーツがフレーム等と干渉していないかチェックしクリアランスを調整します。

全体が仮締め状態で接触がないか確認します。

- テールパイプとサスペンションのリンクパーツ

接触している場合は、マフラー全体を
クリアランスが出来るように少し動かして
本締めの準備をします。



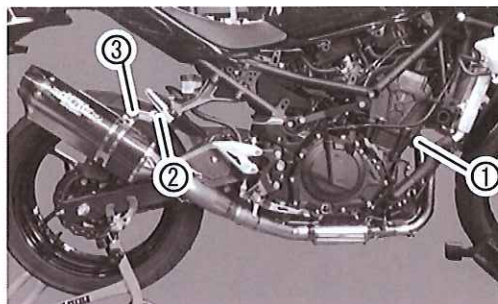
クリアランスを空けすぎるとサブサイレンサー右側とアンダーカウルが接触する可能性が
有りますので、写真のようなクリアランスにしておきます。

Ⅲ ナサートマフラーの取り付け

【本締め】

次の順で本締めしていきます。

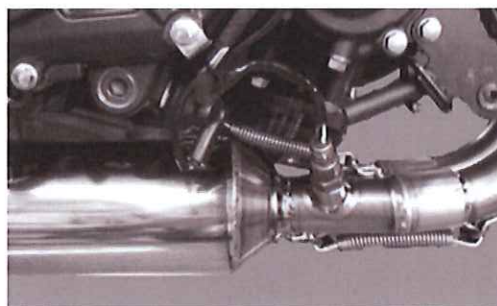
- ① エキパイフランジナット
- ② サイレンサステーとタンデムブラケット
- ③ サイレンサステーとバンド



① エキパイフランジナットは均等に締め付けを行ってください。
ボルト、ナットを痛めたり排気漏れの原因となります。

【02 センサー取付】

図のように取付け、
配線をクランプし
元通りに結線します



【外装の取付け】

取り外した逆の順序で取り付けます。

アンダーカウルとサブサイレンサーが接触していないか必ず確認します。

接触している場合はクリアランスが出来るようにマフラー取付を調整します。



接触したまま走行すると変形、損傷する恐れがあります。

標準締め付けトルク		
下表はねじ部の直径によって決まる標準締め付けトルクです。 値はいずれもパーツクリーナー等で洗浄した後の乾燥したねじ部に対するものです。		
ねじ部直径 (mm)	N・m	kgf・m
5	4.5	0.46
6	8.0	0.82
8	20	2.0
10	35	3.6
12	60	6.1

- 各部ボルト、ナットの締め忘れがないか、干渉しているところがないか再度確認します。
- 本締めが完了したらエンジンを始動する前に、マフラー全体をパーツクリーナー等で脱脂します。



油分がついたままマフラーに熱が入ると焼色にムラが生じます。

- エンジンを始動し排気漏れがないか確認します。



エンジンを始動するときは、換気のよい所で行ってください。

- すべてのボルト・ナットは定期的にチェック、増し締めを行ってください。